

使用料適正化の検討を開始

令和5年度第1回益城町使用料等審議会

町は公共施設などの使用料の見直しを行うため、「益城町使用料等審議会」を設置し、7月10日に第1回目の審議会を開催しました。

この審議会では、町が徴収する使用料について、利用者の負担が適正であるか調査・審議を行います。第1回審議会では、委員の互選により選出された井田貴志いだたかのり会長に、西村町長が諮問書を手渡しました。

今後、諮問された使用料について慎重に審議が行われ、終了したものから順次答申される予定です。



諮問をうける井田会長



パレードを行い役場を訪問した上益城地区保護司会

さらに明るい地域社会を目指して

第73回社会を明るくする運動メッセージ伝達式

役場で7月11日、第73回社会を明るくする運動メッセージ伝達式が行われました。

この運動は、犯罪や非行の防止と立ち直りについて理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くことを目的とし全国的に行われるもので、毎年7月を強化月間としています。西村町長に内閣総理大臣・熊本県知事からのメッセージを渡した上益城地区保護司会御船分会の服部秀月はっとりしゅうげつ会長は、「犯罪や非行を防ぎ、立ち直りを支える地域の力を地域全体で育んでいきたい」と語りました。

マニュアルの電子化業務で企業支援

株式会社スフィアリンクスと立地協定締結

町は7月11日、県を立会人として、IT技術を活用したWebマーケティングやマニュアルの電子化業務などにより企業の事業拡大を支援する株式会社スフィアリンクス(東京都)と立地協定を結びました。

協定に際し、碓井うすい宏典代表は「雇用だけでなくさまざまな面で、できる限りの地域への貢献をしていきたい」と、本町への進出に当たり意気込みを述べました。

同社は町内のシェアオフィスに入居し、業務を開始しています。



県庁で行われた立地協定調印式。中央が碓井代表

Pickup Plus +
今月のプラス



6月26日、益城台地中地区土地区画整理事業起工式が開催されました。起工式には同区画整理組合理事長、金融機関、ハウスメーカーなどの関係者53人が出席し、工事の安全と無事を祈願しました。

同事業は、約160区画の宅地整備に向け、現在、保留地の引き渡しに向けた造成工事を進行中です。